

Voices from the Past to the Future *Recollecting the History of Kwansei Gakuin, 1889-1940*



2013年7月20日から10月6日まで、神戸市立小磯記念美術館で、特別展「関西学院の美術家～知られざる神戸モダニズム～」が開催されました。同展では、関西学院出身の洋画家(大森啓助、野口彌太郎、神原浩、吉原治良、児玉幸雄、片岡真太郎、石阪春生)、創作版画家(北村今三、春村ただを、川西祐三郎)等の作品約170点が紹介されました。その多くは、在学中、絵画部弦月会で活躍した人たちです。



特別展図録(変形A4版、159頁、¥2,000)は、会期終了後も小磯記念美術館にて販売されています。ご希望の方は、☎078-857-5880までご連絡ください。

図録には「過去から未来への記憶～関西学院の変遷を辿る(1889-1940)～」が掲載されています。これは、創立期から1940年までの関西学院の歴史をキャンパスの変遷と学生生活の様子を中心に紹介したものです。

この部分を英語にした冊子 *Voices from the Past to the Future: Recollecting the History of Kwansei Gakuin, 1889-1940* が、C. J. L. ベーツ第4代院長の50回目の命日である2013年12月23日に刊行されました。英文冊子をご覧になりたい方は、関西学院 学院史編纂室までお問い合わせください。